交流事業
市民交流会
観月会

実施日：9月7日(日)　18時～20時15分
場　所：市民会館　全館
出　演：王明君氏(二胡、笛子)
　　及川夕美氏(ピアノ伴奏)
参加費：700円
参加者：79人
事業区分：自主事業

1．内容と目的

仲秋の名月の時期に例年実施している、市民会館の和風建築を活かした月見の会。演奏などの催し物のほか、軽食や和菓子を提供し、自由な懇談を通して、市民交流の場となることを目的としている。過去の寺子屋講座の講師や野田文化広場の会員、その知人や家族などを対象とした、招待制のイベントである。

2．演目

(1) 二胡　「月夜」「金太陽」「泪そうそう」「風土」
(2) 笛子　「秋湖月夜」「林中鳥」「故郷」「チャルダッシュ」

3．振り返り

2012年度、2013年度の観月会が台風で中止となり、実に3年ぶりの開催となった。今回の観月会より、これまでに挙げられたいくつかの運営面の課題について、改善を試みた。

司会進行については、これまでは担当のスタッフが行うことが多かったが、今年度はアナウンサーの沢野有希氏に依頼した。これにより安定した司会進行ができたとともに、スタッフを裏方に割くことができた。

また、今年度は観客席に加え、ビデオとテレビ、無線装置を使用したパブリック・ビューイング席を設けた。混雑を避け、飲食、歓談しながら演奏を楽しむ参加者の姿も見られるなど、こちらも上手く活用されていた。

交流事業
ミュージアム・コンサート

ハーモニカで贈る　懐かしの秋色メロディー

実施日：11 月 23 日(日・祝)14 時～ 15 時
場　所：博物館 1 階展示室
出　演：ハーモニカクラブけやき(15 人)
入場料：無料
来場者：100 人

事業区分：委託事業

１. 内容と目的

ミュージアム・コンサートは市民の交流を促す事業の一つとして行われる。演奏者や音楽団体は市民の中から募り、また入場料は無料とするなど、気軽に集まれる雰囲気を創出し、市民相互の、あるいは異なるコミュニティの人同士のコミュニケーションを促進する目的がある。また博物館ギャラリーでの音楽演奏という新しい文化の楽しみ方の創造にもつなげていく。

第 22 回目の本コンサートでは、市内で活動するハーモニカクラブけやきのメンバーが、秋にちなんだ名曲を合奏や独奏で披露した。また、珍しいハーモニカの紹介や、懐かしの歌謡曲をみんなで歌うコーナーも設けた。

２. 演目

(1) 合奏「秋の歌メドレー～里の秋、村祭り、あかとんぼ、もみじ～」「ホーム・スィート・ホーム」「河は呼んでいる」「ふるさと」　(2) ハーモニカのお話
(3) 独奏「 フォスターメドレー～草競馬、オールド・ブラック・ジョー、おおスザンナ～」「山寺の和尚さん」「ロンドンデリーの歌」
(4) みんなで歌おう①「青い山脈」「知床旅情」　(5) 独奏「赤い河の谷間」「荒城の月」
(6) みんなで歌おう②「旅愁」

３. 振り返り

ハーモニカの合奏、楽器紹介、独奏、みんなで歌おうなどバランスのとれたプログラム構成だった。序盤から来場者が演奏に引き込まれている様子であり、終始よい雰囲気で進めることができた。

ハーモニカクラブけやきは、舞台で一般来場者に演奏を披露するのは今回が初めてであったとのことで、大成功に終わってよかったと、出演者からも喜びの声が聞かれた。また機会があれば出演したいという希望も受けており、市民への成果発表の機会の提供という面で大きな成果があったと思われる。

当日はイベントや部屋利用が重なったこともあり、駐車場の混雑は避けられない状況であった。出演者には別の駐車場を利用していただき対応した。今後も出演人数が多い場合は同様に進めたい。

交流事業

ミュージアム・コンサート

早春の香り～ショパンの調べにのせて～

実施日：2 月 28 日(土)14 時～ 15 時
場　所：博物館 1 階展示室
出　演：堤淳子氏(ピアノ)、髙橋裕子氏(ピアノ、歌)
入場料：無料
来場者：100 人

事業区分：委託事業

1．内容と目的

第 24 回目の本コンサートでは、市内で活動する堤淳子氏、髙橋裕子氏のピアニスト 2 名が、ショパンやドヴォルザークなどのクラシックの名曲を、連弾や独奏で披露した。また、髙橋氏が歌と手話指導、堤氏がピアノ伴奏を行い、来場者は簡単な手話を学びながら童謡などを一緒に歌った。

2．演目

(1) 連弾「スラブ舞曲 op.46-1」
(2) 独奏「パガニーニの主題による狂詩曲より第 18 変奏」
(3) 独奏「小犬のワルツ」
(4) 独奏「ノクターン第 20 番　嬰ハ短調　〈遺作〉」
(5) 独奏「エチュード第 3 番　ホ長調　〈別れの曲〉」
(6) 独奏「幻想即興曲」
(7) 連弾「スラブ舞曲 op.72-2」
(8) みなさんご一緒に「春が来た」「広い河の岸辺」「うれしいひなまつり」「早春賦」「故郷」

3．振り返り

情熱的な演奏でクラシックの醍醐味を味わう前半と、堤氏の伴奏にあわせて、音楽療法士でもある髙橋氏が、誰もが知っている童謡などを手話つきで先導して、来場者も一緒に歌う後半の 2 部構成で、ハーモニカのコンサート同様、プログラムのバランスはよかったと思われる。

みんなで歌うコーナーはいつもの通り人気であったが、今回はさらに簡単な手話も一緒に体験ができて良かった、とする感想が聞かれた。初めて当館のコンサートに来た、という来場者からは「感動した」という声もあった。また会場の照明や雰囲気が好評であった。

同日に市民会館の貸部屋利用団体による講演会もあったため、駐車場などが多少混雑した。また、一般見学者が見学できる部分が限られてしまっていたと思われる。展覧会のチラシにコンサートの日は展示見学が出来ない時間帯がある旨を入れるなど、改善すべきであろう。

交流事業
学校との連携

学校見学対応、出張授業

期　間：随時
件　数：見学会９件、出張授業１件

事業区分：委託事業

１．概要と目的

小学校との連携の取り組みの一環として、課外授業で博物館見学を希望する学校に対して、博物館・市民会館の館内解説、館外施設の解説、火起こし等の体験学習の指導などを行った。

小学校による博物館の利用は、６年生の社会科での歴史学習の導入や、３年生の昔のくらしの単元での利用を希望する学校が多い。希望する学校に対しては担当教員と学芸員が事前に打ち合わせを行い、解説や体験学習の内容提案を行った。中でも実物資料のハンズオンや、築約 90 年の和風建築の見学など、学校の教室では行えない内容を盛り込むことを意識した。

２．内容

見学会

月　日	学校名、学年	人数	内　　容
4 月 25 日（金）	野田市立東部小学校６年生	48 人	施設見学（博）、火起こし、ワークショップ
6 月 13 日（金）	野田市立中央小学校３年生	90 人	施設見学（博）、昔のくらしの道具体験
9 月 11 日（木）	野田市立関宿小学校３年生	23 人	施設見学（博・市）
10 月 3 日（金）	野田市立中央小学校２年生	25 人	施設見学（博・市）
1 月 16 日（金）	野田市立二ツ塚小学校３年生	36 人	施設見学（博・市）、昔のくらしの道具体験
1 月 23 日（金）	野田市立宮崎小学校３年生（なかよし学級）	1 人	施設見学（博・市）、昔のくらしの道具体験
1 月 29 日（木）、30 日（金）	野田市立南部小学校３年生	135 人	施設見学（博・市）、昔のくらしの道具体験
2 月 5 日（木）	野田市立宮崎小学校３年生	94 人	施設見学（博）、昔のくらしの道具体験
2 月 12 日（木）	野田市立福田第一小学校３年生	18 人	施設見学（博・市）、昔のくらしの道具体験

出張授業

月　日	学校名、学年	人数	内　　容
11 月 21 日（金）	野田市立二川小学校 6 年生	24 人	キャリア教育授業での学芸員仕事紹介

3．振り返り

今年度も、小学校 3 年生の冬に「昔のくらし」について学習することが多く、その単元での利用がほとんどであった。市民会館の氷式冷蔵庫や五右衛門風呂の見学とあわせて、電話機やアイロンなど昭和 30 年代頃までの生活道具を市民会館の和室に並べ、形の変遷や使い方について学芸員が解説を行ったほか、「なつかしの道具探究会」会員のサポートによる道具の体験も昨年に引き続き実施した。また、今年度も学芸員が和装をしたうえで解説を行った。

今年度は「野田に生きた人々　その生活と文化　2014」展の中で「なつかしの道具探究会」が活動成果として昭和の居間の再現展示を行った。この展示は小学生をターゲットとして企画され、解説も簡潔でわかりやすくする、子ども向けの学習用ワークシートを作成する等の工夫を行った。6 月には、このワークシートを利用する形で、小学生の団体見学が行われた。この時は、子どもたちが当時の生活について、ワークシートをもとに当時を知る会員に直接質問を行った。子どもたちにとっては、教科書に掲載されていないような生の体験を聞くことで、より能動的で印象深い学習を行うことができたほか、「なつかしの道具探究会」会員にとっても、子どもたちから直接反応を得られたことが活動のモチベーション向上に繋げることができたという点で意義のある試みとなった。

今年度は、キャリア教育における学芸員の出前授業が行われたことも注目すべき点である。これは、学芸員が博物館学芸員という仕事について子どもたちに授業を行うもので、野田市のキャリア教育の一環として行われたものである。これまでの出前授業は歴史や民俗等が中心であったが、こうした新しいジャンルで学芸員の経験、スキルが生かされたことは、今後の博学連携の可能性を広げるという点で非常に重要である。このように、新しいジャンルでの博物館への協力依頼や、今までに見学に訪れたことのなかった学校の見学などが、徐々にではあるが増えてきた。学校側のニーズに応えることはもちろん重要ではあるが、大事なことは、新規採用教職員研修で学校利用について案内を行う等、学校やその教職員に博物館という存在を知ってもらう、身近に感じてもらうことではないかと考えられる。但し、こうした周知の機会や時間には限りがあるため、全ての学校、教職員に博物館やその取り組みを知ってもらうには、さらなる工夫が必要である。

火起こし体験（東部小学校 6 年生）

博物館常設展の見学（関宿小学校 3 年生）

呈茶席

協　力：野田市茶道協会
実施日：11 月 23 日（日・祝）10 時～ 13 時
　　※予定は 10 時～ 15 時。茶菓子完売のため終了
場　所：市民会館　松樹庵（茶室）
参加費：300 円
参加者：第 1 回 70 人
事業区分：委託事業

1．概要と目的

野田市茶道協会の提案で、市民会館と茶室「松樹庵」を活用した茶会を 20 年度より実施している。地元の歴史ある茶室と、野田で茶道を通じた文化活動が活発に行われていることのアピールをしたいという野田市茶道協会の意向は、当館の施設利用促進や市民交流の目的とも合致しており、同会が茶会の準備および全般の進行を担い、当館が施設や備品の提供、PR をするという役割分担を行っている。お抹茶と茶菓子が本格的な作法で振る舞われるが、茶道の経験の有無にかかわらず、誰でも席入りできるよう心がけている。

2．振り返り

開催するたびに次回の開催時期をたずねる問い合わせが来るなど、茶道協会が野田市文化祭の一環として市民会館を会場として行っている 10 月の市民茶会と合わせて、当館で定期的に行われている茶席として定着していると感じられる。近年は年 2 回開催してきたが、茶道協会とのスケジュール調整の関係上、昨年度末の 3 月に実施(計 3 回)したため、本年度は 1 回の実施となった。

本年度は同日に市民の文化活動報告展の関連事業やミュージアム・コンサートが行われており、その参加者にも積極的に案内を行ったため、定刻の 15 時を待たずに 13 時過ぎに完売となった。晴天に恵まれ、野外での点出しもできたため、茶室に入ってお茶をいただくほど時間に余裕のない方も、気軽に参加できたことも影響したと思われる。呈茶席の参加者数は天候に左右される面も多く、雨が降れば参加者数が定員の半数ほどになってしまう場合もある。今後も参加者数の動向を注視しながら、定員を考えていく必要があろう。

利用者へのサービス事業

ミュージアムショップ

ミュージアムグッズ販売コーナーで、ミミーストラップ、山中直治童謡曲集CD、野田かるた等の販売を行った。また、新たなミュージアムグッズの作成、販売に取り組んだ。

ミミーグッズの作成、販売

○「ドグウのミミー缶バッジ」

野田貝塚出土のミミズク形土偶「ミミー」をキャラクター化し、「ドグウのミミー缶バッジ」(全6種)と「ドグウのミミー缶バッジ」(ガイドver.)を作成、販売を行った(詳細は26ページ及び37ページ参照)。

絵はがきの発行、販売

○「野田市郷土博物館・市民会館」絵はがき

実施日：12月18日(木)販売開始

価　格：100円(税込)

内　容：施設の見どころを写した写真絵はがき(全16種)を作成し、販売した。

絵はがき「野田市市民会館　大門」

絵はがき（抜粋）

宣伝・広報事業

事業区分：委託事業

ホームページの運営

展覧会、各種イベントに際し随時情報を更新した（URL　http://www.noda-muse.or.jp）。

《分析と振り返り》

平成 26 年度のホームページのセッション *1 は、月平均 1837 と、昨年 25 年度のセッション月平均 1361 にくらべて 約 1.35 倍に増え、確実にサイト利用者を増やしている。わずかではあるが、9 月、10 月、11 月、1 月がセッション数を多く集めていた。年間を通して、閲覧数の多い上位 10 ページは、次の通りである。

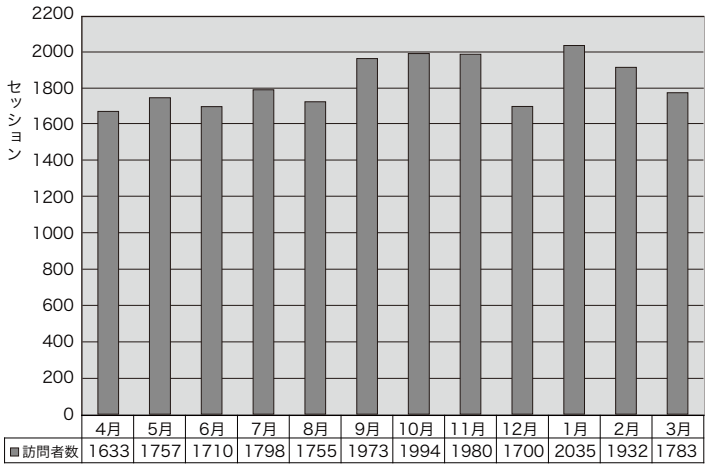
1. トップページ　　2. 企画展ページ
3. 寺子屋講座一覧　　4. 利用案内
5. 市民会館貸し部屋利用案内　　6. 学芸員紹介
7. 常設展示　　8. 予定イベント一覧
9. 館長ごあいさつ　　10. 沿革

企画展ページが比較的多くのアクセス数を集めているが、サイト全体的に満遍なく利用されている印象をうける。だが、日頃アップデートされるイベント記事、レポート記事など、記事個別のアクセス数が高くない。各記事をフックにしてサイトの利用者数を増やしたいと思う。また、アーカイブ全体の利用率をもっと上げたいと思う。ホームページには、告知だけでなく、当館の行ってきた行事などのアーカイブの役割も持たせているからである。今後はより有効にアーカイブも活用していきたい。また、閲覧のデバイスは、PC が、70.36%、モバイルが、25.71%、タブレットが 3.93% であった。まだ、PC からのアクセスが多いものの、将来的には、モバイルが上回ることになるだろう。モバイルでも見やすいように細部の調整を進めたい。

*1 セッション：ユーザーがサイトに訪れた回数。30 分以内の同一ユーザーの再訪問もはカウントされない。

平成 26 年度　博物館ホームページ　アクセス解析

	セッション	ページビュー*2	ユーザー*3
4月	1633	4813	1140
5月	1757	5184	1186
6月	1710	5703	1140
7月	1798	5048	1280
8月	1755	4974	1322
9月	1973	5048	1511
10月	1994	5311	1479
11月	1980	5189	1372
12月	1700	5191	1070
1月	2035	5418	1425
2月	1932	4991	1434
3月	1783	4544	1245
合計	22050	61414	15604



*2 ページビュー：ページが表示された回数。
*3 ユーザー：指定した集計期間において、サイトへの訪問した人数から重複を除いた人数。

タウン誌・一般紙への情報提供

市定例記者会見への情報提供(4回)のほか、市報、タウン誌等に定期的な情報提供を行った。また、新聞・テレビ・雑誌の各種取材に協力をした。

○新聞掲載

日付	掲載紙	見出し	取材対象
4月12日	読売新聞	旧石器から昭和　野田の生活展	企画展「野田に生きた人々　その生活と文化　2014」
5月6日	千葉日報	「押絵行灯」2点公開　歌舞伎の一場面描く細工物　野田市郷土博	企画展「野田に生きた人々　その生活と文化　2014」収蔵品の特別公開
6月11日	東京新聞	野田市博物館　土偶型キャラ　ミミー大変身　女の子タイプに	新デザインを発表した土偶のミミー
6月12日	読売新聞	昭和の居間再現　縄文土器も展示	企画展「野田に生きた人々　その生活と文化　2014」
7月29日	読売新聞	野田で漫画展	特別展「野田で生まれた漫画たち」
8月18日	東京新聞	野田の漫画ワールド紹介　市博物館で企画展　作品や資料など500点	特別展「野田で生まれた漫画たち」
8月20日	朝日新聞	千葉)野田ゆかりの漫画家の作品紹介　市郷土博物館	特別展「野田で生まれた漫画たち」
8月23日	千葉日報	野田生まれの漫画紹介　市郷土博物館で特別展	特別展「野田で生まれた漫画たち」
8月27日	産経新聞	野田の漫画ワールド満開　市郷土博物館で特別展　千葉	特別展「野田で生まれた漫画たち」
11月13日	千葉日報	ガイドの会　10周年で報告展　野田の見どころ知って	企画展「野田の見どころ～おかげさまで10年　むらさきの里　野田ガイドの会～」
12月10日	東京新聞	ジオラマで魅力紹介　野田ガイドの会　10周年で報告展	企画展「野田の見どころ～おかげさまで10年　むらさきの里　野田ガイドの会～」
1月14日	東京新聞	歴史伝える　絵はがき展　野田の劉さん収集	企画展「劉勝彦さんの絵はがきコレクター人生」
1月14日	産経新聞	貴重な絵はがきズラリ　野田で「コレクター人生展」	企画展「劉勝彦さんの絵はがきコレクター人生」
1月26日	千葉日報	絵はがきの魅力伝える　劉さん収集1300点展示	企画展「劉勝彦さんの絵はがきコレクター人生」
2月12日	読売新聞	集めた絵はがき展示	企画展「劉勝彦さんの絵はがきコレクター人生」
2月14日	毎日新聞	絵はがきコレクター人生　懐かしい風景880点　野田市郷土博物館で劉さん	企画展「劉勝彦さんの絵はがきコレクター人生」
2月15日	朝日新聞	絵はがき、時代を映す資料　野田のコレクター・劉さん　人生重ねつつ880点展示	企画展「劉勝彦さんの絵はがきコレクター人生」

○テレビ取材

日付	放送局	番組名、内容等	取材対象
5月4日	JCN コアラ葛飾	「デイリーニュース」	寺子屋講座･第110回芸道文化講座「野田市下河岸物語」
5月14日	中国中央テレビ	国際博物館の日にちなんで、日本の博物館運営の成功事例として紹介	野田市郷土博物館・市民会館
5月30日	JCN コアラ葛飾	「故郷巡景」7月前半号「野田編」	野田市郷土博物館・市民会館
8月17日	J：COM 東葛葛飾	「デイリーニュース」	寺子屋講座・第113回まちの仕事人講話「コウノトリと飼育員のおはなし」
8月26日	J：COM 東葛葛飾	「デイリーニュース」	特別展「野田で生まれた漫画たち」
1月4日	J：COM 東葛葛飾	「デイリーニュース」	企画展「劉勝彦さんの絵はがきコレクター人生」

ポスター・チラシの配布

イベント名	ポスター	チラシ
企画展「野田に生きた人々　その生活と文化　2014」	A3　100部	A4片面　2,000部
特別展「野田で生まれた漫画たち」	A2　300部	A4両面　12,000部
市民の文化活動報告展「野田の見どころ～おかげさまで10年　むらさきの里　野田ガイドの会～」	A2　200部	A4両面　7,500部
市民コレクション展「劉勝彦さんの絵はがきコレクター人生」	A2　200部	A4両面　6,000部
キャリアデザイン連続講座	A3　100部	A4片面　1,500部
呈茶席	A3　100部	A4片面　1,500部
第22回ミュージアム・コンサート　「ハーモニカで贈る　懐かしの秋色メロディー」	A3　100部	A4片面　1,500部
第24回ミュージアム・コンサート　「早春の香り～ショパンの調べにのせて～」	A3　100部	A4片面　1,500部
寺子屋講座　4月―6月	A3　100部	A4片面　2,000部
寺子屋講座　7月―9月	A3　100部	A4片面　2,000部
寺子屋講座　10月―12月	A3　100部	A4片面　2,000部
寺子屋講座　1月―3月	A3　100部	A4片面　2,000部
山中直治コンサート	A3　100部	A4片面　1,500部
夏休みイベント「子どもギャラリートーク（特別展関連講座）／勾玉作り」	―	A4片面　3,000部
春のイベント「飲もう！たてよう！お抹茶体験」	―	A4片面　3,000部

出版事業

事業区分：委託事業

図録の作成、出版

○特別展『野田で生まれた漫画たち』

体　裁：A4 判

頁　数：58 頁

価　格：500 円

部　数：1,100 部

年報紀要の作成、出版

○野田市郷土博物館　市民会館

年報・紀要　第 6 号　2012 年度

体　裁：A4 判　　価　格：500 円

頁　数：122 頁　　部　数：700 部

○野田市郷土博物館　市民会館

年報・紀要　第 7 号　2013 年度

体　裁：A4 判　　価　格：400 円

頁　数：124 頁　　部　数：700 部

パンフレットの発行

「野田市郷土博物館・市民会館」パンフレットを作成、10,000 部印刷。当館および近隣施設にて配布した。